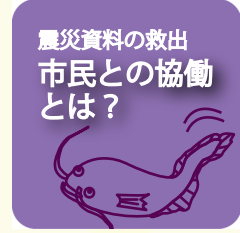
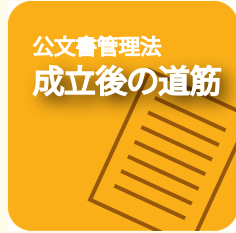


資料保存を実践する

— 事例から学ぶ現場の知恵 —

情報保存研究会 (JHK) ・ (社) 日本図書館協会 共催



昨年開催のシンポジウムでは、資料収集や蔵書構築などの仕事と有機的に連動した組織的・体系的な取り組み＝プリザベーション・マネジメントという考え方を前提に、さまざまな事例を紹介しました。

今回のプログラムは、被災資料の救出や映像資料の保存、デポジットライブラリーの活動など、より具体的な報告です。資料保存をどのように実践し、発生した課題をどのように乗り越えていくか—資料保存の現場が抱える日々の課題を解くためのたくさんのヒントがここにはあります。

特別講演では「公文書管理法成立後の道筋」と「利用のための資料保存の実例」を、それぞれお話しいただきます。

日時：2009年10月16日（金）10：00～17：30（受付9：30）

参加費：無料（定員300名） 申込締切：10月9日（金）

会場：江戸東京博物館1階ホール（JR総武線両国駅徒歩3分）
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 TEL 03-3626-9974（代表）

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・国立大学図書館協会・私立大学図書館協会・文化財保存修復学会・ARMA東京支部・企業史料協議会・記録管理学会・全国大学史資料協議会・日本アーカイブズ学会・専門図書館協議会・アート・ドキュメンテーション学会（依頼中も含む）

プログラム	9：30	受付
	10：00～10：10	JHK 挨拶
	10：10～11：10	特別講演「公文書管理法と公文書管理条例—説明責任を全うするために—」 神奈川大学 法学部 教授 後藤 仁
	11：10～12：00	特別講演「利用のための資料保存と市民協働—小平市図書館と市史編さんでの実践—」 小平市 企画政策部 市史編さん担当 参事 蛭田廣一
		企業展示（12：00～13：30）
	13：30～14：10	事例報告①「資料の救出から整理・保存・活用へ—市民ボランティアとの協働の意義と展望—」 十日町情報館 業務係主査 高橋由美子
	14：10～14：50	事例報告②「風水害からの歴史資料救出と保全—史料の『救命士』を目指して—」 神戸大学大学院 人文学研究科地域連携センター 学術推進研究員 河野未央
		企業展示（14：50～15：20）
	15：20～16：00	事例報告③「共同保存図書館の実現に向けて—多摩から提案する資料保存のしくみ—」 NPO 法人共同保存図書館・多摩 理事・事務局 長 齊藤誠一
	16：00～16：40	事例報告④「テレビ映像資産の継承—NHKアーカイブスの現状と課題—」 NHK川口アーカイブス 館長 小納谷雅明
16：40～16：50	日本図書館協会 挨拶	
	企業展示（16：50～17：30）	

お申し込み：E-mail または FAX でお申し込みください。

企業展示は裏面をご覧ください。▶▶▶

①お名前②ご所属③ご連絡先 (E-mail アドレスまたは電話番号) をご記入の上、下記へお申し込み下さい。

E-mail : sympo@e-jhk.com FAX : 03-5976-5462

情報保存研究会 (JHK) 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-14-2-71

お申し込みの際にいただいた個人情報はシンポジウムの実施・運営にのみ使用いたします。

<http://www.e-jhk.com>